

子供たちの見方・考え方を大切に

教育庁指導部 主任指導主事 赤津 一也

東京都教育委員会では、平成28年度から理科教育カンファレンスを実施しており、今年度も、8月に開催しました。今年度は、全小・中学校等の理科授業の改善・充実を図るため、「理科の見方・考え方を働かせて、資質・能力を育成する」ことについて、参加した皆さんと共有しました。また、NPO法人ガリレオ工房理事長の滝川洋二先生から「科学の楽しさをすべての人に～広がる好奇心・深まる好奇心～」と題し、御講演いただきました。参加者からは、「『理科の見方・考え方』について、ぼんやりとしていたものが、自分の中で明確になった。」「講演会が体験型だったのがすごく魅力的でした。子供たちもこのような気持ちになれるような授業をしたいと思いました。」等の感想をいただきました。

新学習指導要領を具現化していくに当たっては、資質・能力を育成する過程で働く、物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」を意識した授業づくりが必要となります。また、見方・考え方を働かせる子供を中心とした授業を実践してほしいと思います。そのためには、まず、子供たちがどのような見方・考え方をしているのかを私たち大人が理解することが大切です。

1月に小学生科学展を実施し、児童が自ら決めたテーマについて深く研究した成果を展示及び口頭発表します。それぞれの作品から様々な研究の視点、観察、実験の方法などをみることができます。新年早々ではありますが、是非御来場いただき、子供たちの見方・考え方に触れてみませんか。そして、子供の見方・考え方を大切にした授業改善を進めていきましょう。

掲載内容

- 平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果説明会（教員対象）を終えて
- 平成30年度「中学生科学コンテスト」を実施しました
- 平成30年度「小学生科学展」を開催します
- 「特別の教科 道徳」授業力向上セミナー(中学校)を開催しました
- 平成30年度 東京都道徳教育モデル校 中間報告会を開催しました
- 第68回 東京都公立学校美術展覧会を開催します

東京都教育委員会のホームページ内に「学校教育」というコーナーがあるのを御存じですか？「学校教育」からは、各学校が指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図るための諸資料をまとめた、各ページに移動することができます。

また、「学校教育」にある「指導資料・報告書等」のページには、様々な事例集や報告書等を掲載しており、メール・マガジン「スクラム」のバックナンバーも、こちらに掲載しています。

是非御覧いただき、参考にしていただければと思います。

(東京都教育委員会ホームページアドレス <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>)



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。



平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」 結果説明会（教員対象）を終えて

平成30年7月5日に小学校第5学年及び中学校第2学年を対象に実施した「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果の説明会を、11月19日及び20日（中学校）、22日（小学校）の3日にわたって開催しました。

本説明会では、全体会で調査結果の概要を説明した後、校種、教科ごとの分科会においては、調査結果の分析に基づいた授業改善のポイントの説明を踏まえ、各地域や各学校における授業改善に向けての協議を行いました。

今回は、各分科会の協議テーマと参加者の声を紹介します。

各分科会の協議テーマ

【小学校】

国語	自校（自地区）で、相手や目的に応じて書きたいことが伝わるように書く指導の充実を図るために、どのような授業改善に取り組むか。
社会	① 問題解決的な学習過程の充実についての現状と課題 ② 問題解決的な学習過程の充実を図るためのポイントについて、具体的な改善策や効果のあった事例
算数	① 今年度の児童・生徒の学力向上を図るための調査から、明らかになった課題は何か。 ② その課題の解決に向けて、自分の学校（地域）では、どのような授業改善に取り組むか。
理科	① 自校（自地区）では、読み解く力について、どのような課題があるか。 ② その課題の解決に向けて、自分の学校（地域）では、どのような授業改善に取り組むか。

【中学校】

国語	① 自校（自地区）では、根拠を明確にして自分の考えを書く力について、どのような課題があるか。 ② その課題の解決に向けて、「書くこと」の単元において、どのような指導の工夫が考えられるか。
社会	① 世界の諸地域の学習でどのような問い（主題）を設定して指導していくことが効果的か。 ② 言語活動に関わる学習の現状と課題、効果的な指導方法について。
数学	① 柱体と錐体の体積の関係について、どのように指導していくのが効果的か。 ② 授業の最後に行う「振り返る活動」の現状と課題、よりよい方法について。
理科	① どのようにして理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育むか。 ② 学習を見通し振り返る場面やグループなどで対話する場面をどこに設定するか。
英語	① 自校（自地区）では、「外国語表現の能力」の育成において、どのような課題があるか。 ② その課題の解決に向けて、「授業改善のポイント」を踏まえ、どのような授業改善に取り組むか。

参加者の声

各観点の課題と解決のためのヒントが明確に示されており、具体的にすべきことがイメージできたことがありがたかった。

課題に特化した説明とその改善ポイントは分かりやすく、普段の授業で感じている問題点が具体的に明らかになった。今後の課題が明確になった。

協議では、他の地域や学校の実態が分かり、指導法に様々な工夫がされていることが分かった。日々の授業改善や我々教師の工夫が子供たちの学力向上につながり、卒業後の子供たちを支える力となっていく。研究を更に重ねて実践していく必要性を感じた。

なお、本説明会で使用した提示用資料は、区市町村教育委員会にお送りしています。今後、各地区で開かれる説明会等において、報告書とともに御活用いただき、授業改善にお役立てください。

平成30年度「中学生科学コンテスト」を実施しました

中学生科学コンテストとは

中学生科学コンテストは、**生徒の理科・数学等に対する意欲・能力を更に伸ばし、科学好きの生徒を更に増やすこと**を目的としています。今年度で6回目となりました。

本コンテストは、国公立を問わず都内の中学校等に在籍する生徒3名がチームを編成し、理科・数学等の能力を競い合います。また、本コンテストで東京都知事賞を受賞した上位2チームは、東京都代表として「科学の甲子園ジュニア全国大会」に参加することができます。

今年度の概要

今年度は、188チーム、556名の生徒が参加しました。188チームのうち、区市町村立中学校等は76チーム、都立中学校及び中等教育学校は39チーム、国立中学校及び中等教育学校は27チーム、私立中学校は46チームでした。競技は、都立富士高等学校附属中学校と都立立川国際中等教育学校の2校を会場として実施しました。

当日は、筆記競技（70分間）と実技競技（90分間）を行いました。



筆記競技では、理科・数学等の複数分野から出題された課題を解決します。

実技競技では、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決します。



今年度の結果

賞	チーム番号	学校名
東京都知事賞 <small>* 筆記得点と実技得点の合計得点が第1位と第2位のチーム</small>	71	桜蔭中学校
	155	筑波大学附属駒場中学校
銀賞 <small>* 筆記得点と実技得点の合計得点が第3位から第5位までのチーム</small>	34	都立小石川中等教育学校
	86	開成中学校
	89	開成中学校
銅賞 <small>* 筆記得点と実技得点の合計得点が第6位から第10位までのチーム</small>	43	都立桜修館中等教育学校
	73	桜蔭中学校
	87	開成中学校
	143	都立武蔵高等学校附属中学校
	145	都立武蔵高等学校附属中学校
	154	筑波大学附属駒場中学校
優秀賞（筆記部門） <small>* 東京都知事賞、銀賞、銅賞のチームを除いて筆記得点が第1位から第3位までのチーム</small>	72	桜蔭中学校
	157	筑波大学附属駒場中学校
	173	駒場東邦中学校
優秀賞（実技部門） <small>* 東京都知事賞、銀賞、銅賞のチームを除いて実技得点が第1位から第3位までのチーム</small>	49	都立富士高等学校附属中学校
	80	宝仙学園中学校
	122	清瀬市立清瀬第二中学校

* この表は、賞ごとに当日のチーム番号順に並べたものであり、合計得点の順ではありません。

表彰式

平成30年11月25日（日）に、東京ビッグサイトにて表彰式を行いました。

表彰式は、「科学の祭典」として、科学の甲子園東京都予選表彰式（高校生）、東京都小学生科学展表彰式（小学生）、理数研究校等によるポスター発表・口頭発表（高校生）と合わせて行いました。



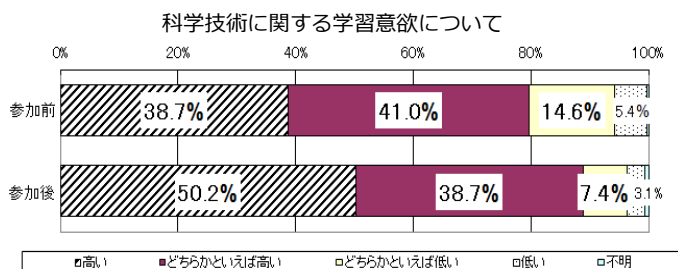
全国大会の結果

今年度、東京都知事賞を受賞した「桜蔭中学校」と「筑波大学附属駒場中学校」の6名が、東京都代表チームとして「科学の甲子園ジュニア全国大会」に出場しました。平成30年12月7日（金）から12月9日（日）に、茨城県つくば市にあるつくば国際会議場において、各道府県の代表チームと競い合い、筆記部門で第4位となりました。

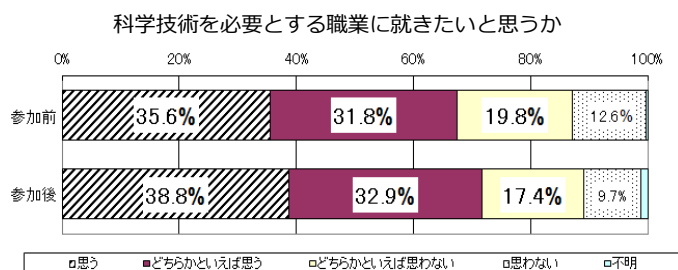
参加者の感想など

参加した生徒からは、「チームで話し合いながら、個性を生かして問題に取り組むことができた。」「目的を達成するために、解決方法を見直したり、データの信ぴょう性を高めたりすることの大切さを感じた。」などの感想が聞かれ、生徒の科学に対する興味・関心が高まりました。

[参加者アンケートの結果]



参加した生徒の8割以上が、「科学技術に関する学習意欲が高い」と回答しています。



中学生科学コンテストに参加して、「科学技術を必要とする職業に就きたい」と思う生徒の割合が増えました。

本コンテストの実施にあたり、当日の係や生徒の引率など、各学校の先生方及び保護者の皆様に大きな協力をいただいたことを改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

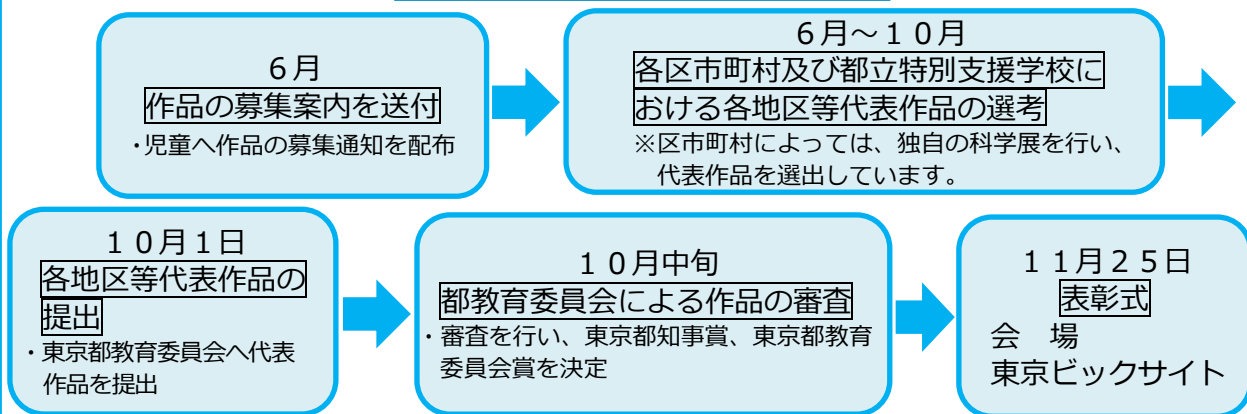
中学生科学コンテストは来年度も実施する予定です。多くの中学生の皆さんの参加をお待ちしています。

平成30年度「小学生科学展」を開催します

東京都小学生科学展とは

東京都小学生科学展は、全都の理数好きの小学生が、自ら決めたテーマについて深く研究した成果を展示・発表することを通して、理数についての能力を高め、理数好きの児童を更に増やすことを目的としています。

今年度の概要



平成30年度東京都小学生科学展

平成31年1月11日(金)から1月14日(月・祝)まで

会場 日本科学未来館 (江東区青海二丁目3番6号)

- 内容
- 各区市町村及び都立特別支援学校の代表児童が、自分で決めたテーマについて研究した成果を展示発表
 - 代表児童は12日(土)、13日(日)、14日(月・祝)に、一人10分間程度の口頭発表



平成30年度東京都小学生科学展 東京都知事賞及び東京都教育委員会賞の受賞作品

賞	学校名 学年・氏名	研究テーマ
東京都知事賞	東大和市立第三小学校 6年・松田 広美 6年・松田 清美	ひろきよの われらドクダミ調査隊 2018
	港区立青南小学校 4年・橋本 龍之介	坂道コロコロ 最強のすべり止め決定戦
東京都教育委員会賞	新宿区立愛日小学校 6年・三谷 昂	シャボン玉はなぜ浮くの? ～シャボン玉の不思議～
	豊島区立高南小学校 5年・猪端 仁	災害時に水を確保する ～災害時る過そう置とひなん袋る過そう置～
	葛飾区立鎌倉小学校 6年・星合 愛香	「あさがおの花の数とつるの動き」 -6年間の観察と記録-
	府中市立本宿小学校 6年・鈴木 桜太郎	どこまで再現?! セミの鳴く仕組み

※ 上記以外の各区市町村及び都立特別支援学校小学部の代表作品につきましては、優秀賞となります。

「特別の教科 道徳」授業力向上セミナー(中学校)を開催しました

東京都道徳教育推進委員の先生が在籍する6校の中学校で、「特別の教科 道徳」授業力向上セミナーを開催しました。セミナーでは、推進委員の先生による「特別の教科 道徳」の授業を公開するとともに、道徳科の指導の在り方や評価の考え方等についてグループ協議を行いました。



↑ 〈公開授業の様子〉

〈協議会の様子〉 →



《開催日と会場》

- 10月 1日(月) 新宿区立四谷中学校
- 11月 1日(木) 多摩市立多摩中学校
- 11月 8日(木) 江東区立深川第三中学校
- 11月 14日(水) 多摩市立青陵中学校
- 11月 20日(火) 目黒区立大鳥中学校
- 11月 30日(金) 豊島区立西池袋中学校 延べ 320名参加

【参加された先生方の声】

- 教材の掲示やワークシートの工夫、授業の展開など、とても勉強になりました。「なぜ」、「どうして」と問いかけて考えを深めさせたり、「今の意見を補ってくれる人はいますか」と声を掛けて考えを広げさせたりする工夫を、授業に取り入れていきたいと思いました。
- 道徳の授業の質の向上と「特別の教科 道徳」の評価とを同時に行うことが大切であると改めて認識しました。本日の授業から、「授業者が『道徳は楽しいもの』と思っていることが子供にも伝わる」ということを感じ、道徳教育に取り組む意欲が高まりました。

セミナーで公開した授業の指導案は東京都教育委員会ホームページで随時公開していきます。

平成30年度 東京都道徳教育モデル校 中間報告会を開催しました

都教育委員会では、学校における教育活動全体を通じて取り組む道徳教育の充実に向け、「東京都道徳教育モデル校」を指定し、効果的なカリキュラムのモデルの研究・開発に取り組んでいます。11月26日に開催した中間報告会には、200名を超える先生方が参加しました。

《モデル校・発表テーマ》

- 渋谷区立神南小学校
「他教科と関連付けた道徳教育の推進」
- 荒川区立第四峡田小学校
「道徳科と学級活動との関連を図った道徳教育の推進」
- 町田市立小山ヶ丘小学校
「月別の別葉を柱とした全校道徳の推進」



【参加された先生方の声】

- 重点項目の設定が大切だと感じた。学校全体で取り組む道徳教育についてのヒントをいただいたので、自校で実践していきたいと思います。
- 一教員の思いや考えだけでなく、組織として、チーム学校として取り組んでいくことが、今後、大きな力になっていくのだと実感しました。
- 別葉を分かりやすい形で教員、児童及び保護者に示し、全校で道徳教育に真摯に取り組むことが大切だと感じました。自校でも取り入れていきたいと思います。

モデル校の実践事例や効果的なカリキュラムモデル等をリーフレットで紹介します。(2月予定)

第68回 東京都公立学校美術展覧会を開催します

東京都公立学校展覧会とは？

- 昭和26年の第1回開催以来、半世紀を越える実績を重ねている展覧会です。
- 都内公立小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒の代表作品が一堂に会する、唯一の展覧会です。
- 平成29年度の展覧会には、1万5千点を超える出品があり、7万7千人を超える来場者を記録しました。

来場者の声

- ☆ きれいな作品がいっぱいあってすごいと思いました。その中に自分の作品もあって、うれしかったです。(出品者)
- ☆ 地区ごとに分かれていて、見やすかったです。67回も続く伝統ある展覧会に出品されたことはとても光栄です。(出品者の保護者)
- ☆ このような美術展に思いがけず出会うことができ、うれしく思いました。子供たちのエネルギーの大きさに感服し、先生方の御努力に感謝したいと思います。(来場者)

展覧会場の様子です！



今年度の開催について

是非、御来場ください！

- 会 期 平成31年2月13日(水)から平成31年2月19日(火)まで
※ただし、平成31年2月18日(月)は開催しません。
- 開場時間 午前9時30分から午後5時30分まで(入場は午後5時まで)
※ただし、最終日の平成31年2月19日(火)は午後2時まで
(入場は午後1時30分まで)
- 出品作品 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、
高等学校、特別支援学校の児童・生徒の作品
 - 図画工作、美術、工芸
 - 家庭、技術・家庭
 - 書写
- 会 場 東京都美術館
JR上野駅(公園口) 徒歩7分
東京メトロ銀座線・日比谷線
上野駅(7番出口) 徒歩10分
京成線 京成上野駅 徒歩10分

